



CHECK

M&A の譲渡価額

- 企業価値評価を行い、客観的・合理的な企業の価格を算出する



CHECK

企業価値の算出方法

- コストアプローチ
- マーケットアプローチ
- インカムアプローチ



CHECK

コストアプローチ

- 企業の純資産を基準に企業価値を決めるM & A評価基準



CHECK

コストアプローチ

- 時価純資産法
- 簿価純資産法



メリット

コストアプローチ

- 客観性の高い企業価値を算出できる
- 過去から現在までで判断できるコストに目を向けている評価手法



デメリット

コストアプローチ

- デメリットは、将来の収益性や買い手とのシナジーをほぼ加味しないため、将来性が高い企業やシナジーが見込まれる企業の企業価値評価には適していない



CHECK

マーケットアプローチ

- 市場が決めた企業価値や、競合他社を基準に企業価値を算出する方法



メリット

マーケットアプローチ

- 最も客観性が高く、誰でも簡単に利用できる



CHECK

マーケットアプローチ

- 市場株価平均法
- 類似会社比準法
- 類似取引比準法



メリット

マーケットアプローチ

- 他のアプローチとの違いは、評価手続きの中に市場参加者という第三者目線が含まれているため、この方法で算出された価格は客観的であるとされている



デメリット

マーケットアプローチ

- デメリットは、「市場株価平均法」は短期的な市場の動きに左右されやすく「類似会社比準法」は事業内容が類似する企業がないと利用しにくい



CHECK

インカムアプローチ

- 将来、見込まれる収益を予測して現在の企業価値に換算した算出方法



メリット

インカムアプローチ

- 将来的な収益性や買い手とのシナジー効果を加味できる
- 他のアプローチとの違いは、将来の収益性を見込む



CHECK

インカムアプローチ

- DCF法
将来的に得られるキャッシュフローを加味
- 収益還元法
企業の事業計画書に基づいて算出



メリット

インカムアプローチ

- 将来的な収益性や買い手とのシナジー効果を加味できる
- 他のアプローチとの違いは、将来の収益性を見込む



デメリット

インカムアプローチ

- デメリットは、売主の主観が入りやすく、客観的な企業価値を求めにくい



CHECK

株式譲渡＋退職金スキーム

- 会社を売却するタイミングで退職金を支払い、純資産を圧縮して株式を譲渡する



CHECK

株式譲渡＋退職金スキーム

- 株式譲渡の金額に役員退職金の分を含めると、役員退職金では退職所得控除があるので、株式譲渡の対価として、全額受け取る場合と比べ、役員退職金の分だけ譲渡益課税が減る



メリット

会社にとってのメリット

- 退職金を損金算入できる



メリット

会社にとってのメリット

- 株式取得に要した資金は損金算入できないが、一部を退職金とすることで損金算入できるため、繰越欠損金として課税所得との相殺が可能



問題点

役員退職金の注意点

- 役員退職金は支給額、支給方法、支給のタイミング等により一部または全額が役員退職金として認められないケースがある



問題点

役員退職金の注意点

- 役員退職金を増やしすぎると、税金が増える場合もある